

1. 交付金事業の名称 エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 奈良県
3. 交付金事業の実施場所 奈良県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

戸田式霧箱（電子冷却型）や太陽光発電学習セット等を整備し、活用した。

(2) 施設見学の実施

大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク等を見学した。

(3) 講演会の実施

有識者による、エネルギーについての講演会を実施した。

(4) 教員研修の実施

放射線・エネルギーについての教員研修会を実施した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 4, 639, 450円

交付金充当額 4, 639, 450円

6. 交付金事業の成果及び評価

・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 80%に対して実績 90%、施設見学事業が目標 80%に対して実績 92%、講演会事業が目標 80%に対して実績 95%、教員研修事業が目標 80%に対して実績 100%であった。実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会事業を実施したことにより、生徒が自ら積極的に学ぼうとする姿勢が見られた。児童・生徒の原子力・エネルギーに関する興味・関心が高まり、これらの理解が促進された。

・当事業により原子力やエネルギーに関する教育のための環境整備が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 80%に対して実績 95%、施設見学事業が目標 80%に対して実績 92%、講演会事業が目標 80%に対して実績 88%、教員研修事業が目標 80%に対して実績 100%であった。本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として、実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会、教員研修事業が促進されたと評価できる。